

学んで生かす調査

◇民生文教常任委員会 所管事務調査

調査日 平成29年8月3日(木)

調査先 長野県御代田町

調査目的 介護予防・日常生活支援総合事業について
子育て支援事業について



【介護予防の推進】

行政に頼ることのみを考えずに、高齢者自ら健康に日常生活が送れるよう心掛けて活動していることとあわせ、家族そして地域が一体となりお互いを見守り助け合う関係を構築している。

また、平均年齢70歳超の方々により組織されているNPO法人「御代田町はつらつサポーター」による、自分たちが将来誰かのお世話になる、だから元気なうちにできることをといった事業を行っている。

本町においても高齢者が交流できる場等を多く作り、お互いが助け合える人間関係が構築できる様な体制をつくる事が必要であるとする。

【子育て支援について】

地域が一体となり、子供たちを見守り、家族同様に子育てをしている親に接している事とあわせ、行政自体も仕事と子育てが両立できるような環境を作り出している。

子育て支援事業については、本町が一步進んだ感はあるが、子育て中の親が進んで当町に住むことの出来る環境（仕事一働き含む）づくりを進めていくことが必要であり、定住促進にもつながると考える。

調査日 平成29年8月4日(金)

調査先 長野県佐久市

調査目的 道の駅「ヘルシーテラス佐久南」整備事業
及び運営について



本施設は「健康長寿」をキーワードに、サービスエリアやパーキングエリアが整備されていない中部横断自動車道や国道121号線など道路利用者の休憩機能を果たすと同時に、地域内外を結ぶ拠点施設として、安全安心な新鮮野菜や健康長寿食のほか、友好都市の物産品を取り扱うとともに災害時の避難施設として整備され、管理は委託しているが管理費用等の支出はなく、受託業者が民間ノウハウを駆使し、販売手数料等から管理費を捻出し運営されている。

当町においては、管理を委託している施設に管理費を支出しているが、税収が減少していることを踏まえ、収入が見込まれる施設については、民間的発想等を取り入れ余分な支出を抑えることができるようになるのではないかと考える。

